

4.2 ヒアリの見分け方

ヒアリの疑いがあるアリが発見されたとしても、それが本当にヒアリであるかどうかの判定には専門家による種の同定が必要となる。沖縄県内で疑わしいアリが発見された際には、行政や研究機関で簡易な確認を行った後、専門家に同定を依頼する流れとなっている。具体的な同定の流れについては、主に以下の3つのSTEPに分かれる。

STEP1 肉眼で見分ける：ヒアリの疑いがあるか？

→ 一般の事業者や市民でも可能

STEP2 ルーペや実体顕微鏡で見分ける：ヒアリ類(ヒアリやアカカミアリ)かどうか？

→ 国の機関や地方自治体の職員、一般事業者でも可能(ヒアリ類に共通する3つの形質で確認する)

STEP3 専門家による同定【ヒアリかどうか】

→アリ分類の専門家でないと難

4.2.1 ヒアリの見分け方

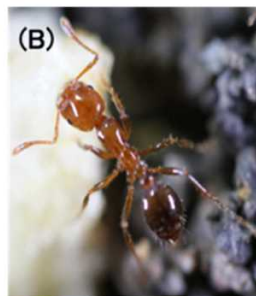
以下は、STEP1(実寸大やサイズで確認)およびSTEP2(ヒアリ類に共有の3つの形質)の際の見分け方について。

<ヒアリ類の見分け方>

STEP1 肉眼で見分けられるヒアリの特徴

肉眼でわかるヒアリの特徴

- (A) 体の大きさは2~6.5mm。
同じ巣の中に様々なサイズのアリが混在する。
- (B) 頭と胸は赤く、腹部が黒っぽい。
体全体がツヤツヤしている。
- (C) 塚状の巣を作り、巣をつつくとたくさんのアリが一斉に出てくる
※塚は冬季の方が見分けやすい



ヒアリの巣をつついた動画はこちらから↓



<https://www.youtube.com/watch?v=OjdSIHw2WhE&feature=youtu.be>

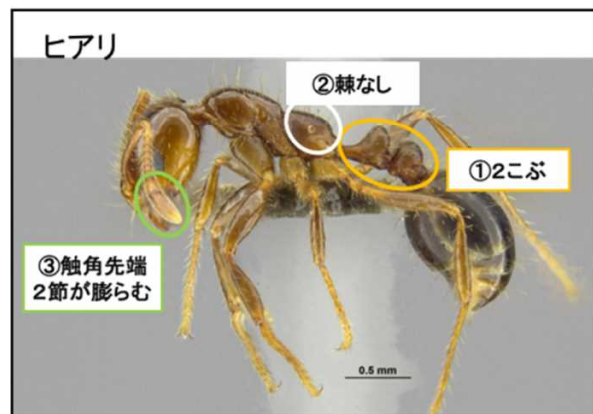


STEP2 ルーペや顕微鏡で見分けるヒアリの特徴

以下の3つの特徴が全て当てはまる場合は、ヒアリ類の可能性が高い。

ヒアリ類(働きアリ)に共通する3つの形質

- ① 胸と腹の間のこぶが2つ
- ② 胸の後端に棘がない
- ③ 触角の先端2節が膨らむ



4.2.2 ヒアリの女王アリ

<ヒアリ女王の見分け方>

ヒアリ(女王アリ)に共通する形質

- (A) 体の大きさは、7～8mm。
- (B) 胸と腹の間のこぶが2節。
- (C) 触角の先端2節が膨らむ。



ヒアリの女王は働きアリよりも胸部が発達し、体サイズが大きく、翅を持つことがある。翅を持った新女王は、次世代の巣を創るために翅で長距離移動し、単独で発見されることもある。沖縄では、上記3つの特徴全てがあてはまる場合はヒアリ女王の可能性があるので注意が必要。



実寸大 女王アリ体長
7～8 mm

働きアリ

女王アリ



4.2.2 沖縄に生息する間違えやすいアリとヒアリとの違い

※ヒアリとの違いは赤字で表記

